

制作・展示支援プログラム

# Artists in FAS 2024

小山裕紀子

OYAMA Yukiko

斎藤英理

SAITO Eri

齊藤美帆

SAITO Miho

伴佳七子

BAN Kanako



入選アーティストによる成果発表展  
2025. 1.11 Sat. — 3.16 Sun.



 藤沢市 アートスペース  
Fujisawa City Art Space

10:00—19:00

入場無料

※入場は 18:30 まで

[図版左上から]

小山 裕紀子《fliegende Papierbahnen》2024年、斎藤 英理《Social Circles》2023年、齊藤 美帆  
《non objective object #1》2023年、伴 佳七子《まぶたの裏にて、ひゅつとちる》2024年(撮影:柳場 大)

[休 館 日] 月曜日

(ただし、1月13日(月・祝)、2月24日(月・振休)は開館、  
1月14日(火)、2月25日(火)は休館)

[会 場] 藤沢市アートスペース、ココテラス湘南ビル共用スペース

[主 催] 藤沢市、藤沢市教育委員会

[後 援] 神奈川新聞社、株式会社ジェイコム湘南・神奈川、  
レディオ湘南

[特別協力] 一般財団法人藤沢市開発経営公社

[協 力] 公益財団法人藤沢市みらい創造財団

制作・展示支援プログラム

# Artists in FAS 2024

入選アーティストによる成果発表展

「Artists in FAS」は、藤沢市アートスペース(以下、FAS)が多様な創作活動に携わるアーティストたちに、制作の場と発表の機会を提供するアーティスト・イン・レジデンスプログラムです。9回目となる今回は、全国から56件の応募があり、外部審査員(三沢厚彦氏[彫刻家]、三本松倫代氏[神奈川県立近代美術館主任学芸員])によって、映像、立体、インスタレーションなどを手がける4名が選出されました。入選アーティストたちは、展覧会に先立ち10月からの約3ヶ月間、FASのレジデンスルームで滞在制作を行いました。その成果を本展にて発表します。藤沢の自然と歴史のリサーチや、市民、そしてアーティスト同士の交流によって生まれた作品をご覧ください。



おやま ゆきこ  
小山 裕紀子

OYAMA Yukiko

ニューヨーク生まれ神奈川県育ち。2012年武蔵野美術大学大学院修士課程日本画コース修了、2024年カールスルーエ美術アカデミーでレニ・ホフマンとクリスティアン・エアテルに師事しマイスターシューラーを取得。

主な展覧会に、2024年二人展「In diesen Raum eintreten」(カリノフスキルーム/カールスルーエ)、2023年クラス展「gone to see a man about a dog」(ルイスロイギャラリー/カールスルーエ)など。

制作過程において、物質から生まれる偶然性や文字と絵画の関係性をテーマに、写真・グラフィックや陶器など様々な素材や手法を用いて空間全体を利用したインスタレーション作品の制作をしている。

《Kurve kriegen》2024年



さいとう えり  
齋藤 英理

SAITO Eri

撮影:池添 俊

福島県生まれ。2015年和光大学表現学部芸術学科卒業。

主な展覧会に、2023年「how to make friends」(Art Center Ongoing/東京)、2021年都美セレクトグループ展 2021「暗くなるまで待っていて」(東京都美術館/東京)など。主な上映に、2024年 21st Experimental Film & Video Festival in Seoul(Korean Film Archive/ソウル)、2024年 Prismatic Ground (Anthology Film Archives/ニューヨーク)他、国内外の映画祭で作品を上映。

2024年1月にはe-flux Film Award(ニューヨーク)にてSecond Prizeを受賞。

記憶や認識など目に見えない不確かな動態をモチーフに、主に映像メディアを用いて制作を行う。

《見えないものを想像する》2022年



さいとう みほ  
齋藤 美帆

SAITO Miho

神奈川県生まれ。2024年武蔵野美術大学彫刻学科卒業。

主な展覧会に、2023年「移動する視点、通路の彫刻」(メトロ銀座ギャラリー/東京)、2024年「2023年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展」(武蔵野美術大学美術館/東京)など。

「何も機能を果たさない機能性」を持った物体“non objective object”シリーズを制作する。意味を持たせることの意味、現実における確かな事実を考え直すための補助的物体を作ること、社会通念がもたらす窮屈さから、観るもののできる限り解放させることを目指している。

「2023年度 武蔵野美術大学卒業制作作品展 展示風景」  
2024年 (撮影:柳場 大)



ばん かなこ  
伴 佳七子

BAN Kanako

山口県生まれ。2024年武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻彫刻コース修了。

主な展覧会に、2022年三人展「キッチンで、窓」(SHINBI GALLERY/東京)、2021年「移動する視点、通路の彫刻」(メトロ銀座ギャラリー/東京)など。

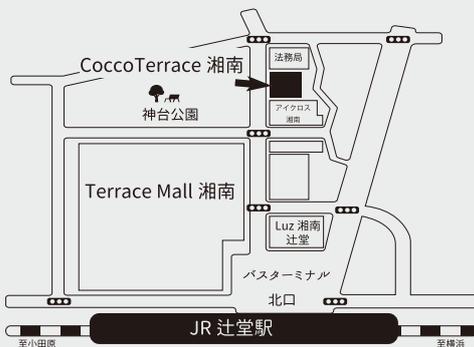
石でかたちを彫りだす、膜をはがしとるなどの行為により、身の回りの変化し続ける現象を留めることを試みる。生物や地形のかたちが形成される過程や景色を眺めたときの光の残像など、一瞬で捉えきれないものたちとの遭遇からつくることがはじまる。

《まぶたの裏にて、ひゅつとちる》(部分)  
2024年 (撮影:柳場 大)



関連イベント	「入選アーティストと審査員によるトークセッション」	2025年1月11日(土) 14:00-15:30	参加費:無料
		会場:藤沢市アートスペース、ココテラス湘南ビル共用スペース	
ワークショップ	「おぼえる、つたえる、描いてみる」	2025年1月18日(土) 13:00-14:30	講師:齋藤 英理 参加費:100円(材料費)
	「これ、何に見える? 小さなオブジェを作ろう」	2025年1月26日(日) 14:00-16:00	講師:齋藤 美帆 参加費:500円(材料費)
	「物語でつむぐ、コラージュ絵巻!」	2025年2月9日(日) 14:00-16:00	講師:伴 佳七子 参加費:500円(材料費)
	「私もアーティスト! 窓から見る景色一切切って貼って塗ってみよう」	2025年2月15日(土) 10:00-11:30	講師:小山 裕紀子 参加費:200円(材料費)

要事前申込。詳細や申し込み方法は、藤沢市アートスペースのウェブサイト、SNSをご確認ください。



【電車】  
JR「辻堂」駅 東口改札北口出口から徒歩5分

【バス】  
神奈川中央交通「神台公園前」下車すぐ

FASに専用駐車場はございません。  
公共交通機関をご利用ください。



〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台 2-2-2 Cocco Terrace 湘南 6階  
TEL 0466-30-1816 E-mail fj-art@city.fujisawa.lg.jp  
HP <https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/bunka/FAS>



藤 沢 市 アー ト ス ペー ス  
Fujisawa City Art Space